

# お 知 ら せ

しもくほ だんりよくてきかんりしけん  
下久保ダム弾力的管理試験（フラッシュ放流）の実施について  
（河川の水位が上昇するので注意）

独立行政法人水資源機構下久保ダムでは以下の日時に、「弾力的管理試験<sup>※1</sup>」として、最大毎秒約 90 立方メートルの水をダム下流に流すフラッシュ放流<sup>※2</sup>を実施します。

実施日時：平成 22 年 7 月 15 日（木）午前 10 時～午後 4 時

下久保ダムでは、平成 19 年度より、ダム下流の河川環境に配慮した弾力的管理試験を実施しています。

今回のフラッシュ放流により、ダム下流の<sup>かん</sup>神流川では、水位が上昇しますので、注意してください。

なお、前日及び当日の河川流量や降雨状況によっては、フラッシュ放流を中止する場合があります。

※1：弾力的管理試験とは、洪水調節に支障を及ぼさない範囲で、洪水調節容量の一部に流水を貯留し、これを適切に放流することによりダム下流の河川環境の整備と保全等に資することを目的として試験的に行うものです。

※2：フラッシュ放流とは、ダム下流の河川環境の改善を目的として、短時間に放流量を増加させ掃流力を確保する放流のことです。

平成 22 年 7 月 9 日



独立行政法人水資源機構

下久保ダム管理所

配布先

熊谷記者クラブ  
藤岡記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人<sup>みずしげんきこう</sup>水資源機構 下久保ダム管理所

所長代理（総務） <sup>たむら</sup>田村 <sup>みつあき</sup>三明

TEL 0274-52-2746

## 下久保ダム弾力的管理試験について

### 1. 日 時

平成22年7月15日（木） 午前10時～午後4時（予定）

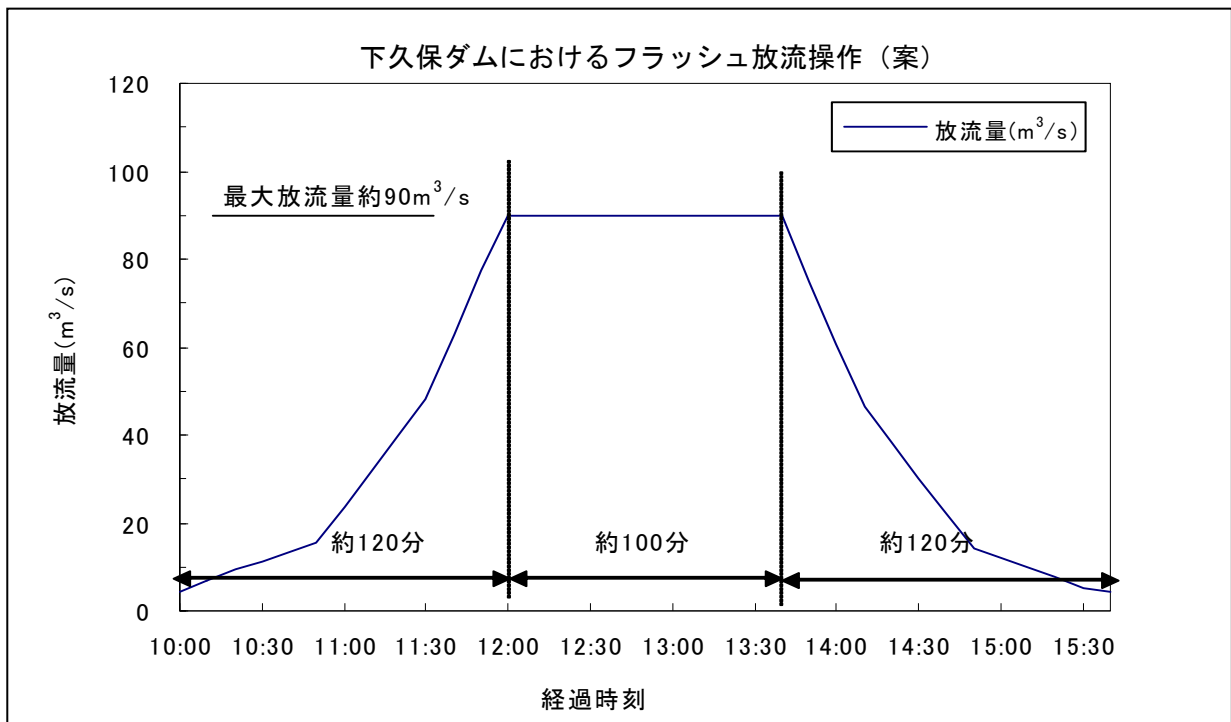
※なお、前日及び当日の河川流量や降雨状況によっては、フラッシュ放流を中止する場合があります。

### 2. フラッシュ放流により期待される効果

- ①あらかじめダム下流に置いた砂利や砂を流しダム下流河川の河床堆積物や付着藻類を掃流すること。
- ②砂利や砂の供給により砂州の復元や生物生息環境を改善すること。
- ③少ない水の量では、川の一部によどみができるため、よどみを流して川をきれいにする。

### 3. フラッシュ放流の概要

- ①ダムから流す水の量：最大で毎秒約90立方メートル
- ②最大の水を流す継続時間：約2時間



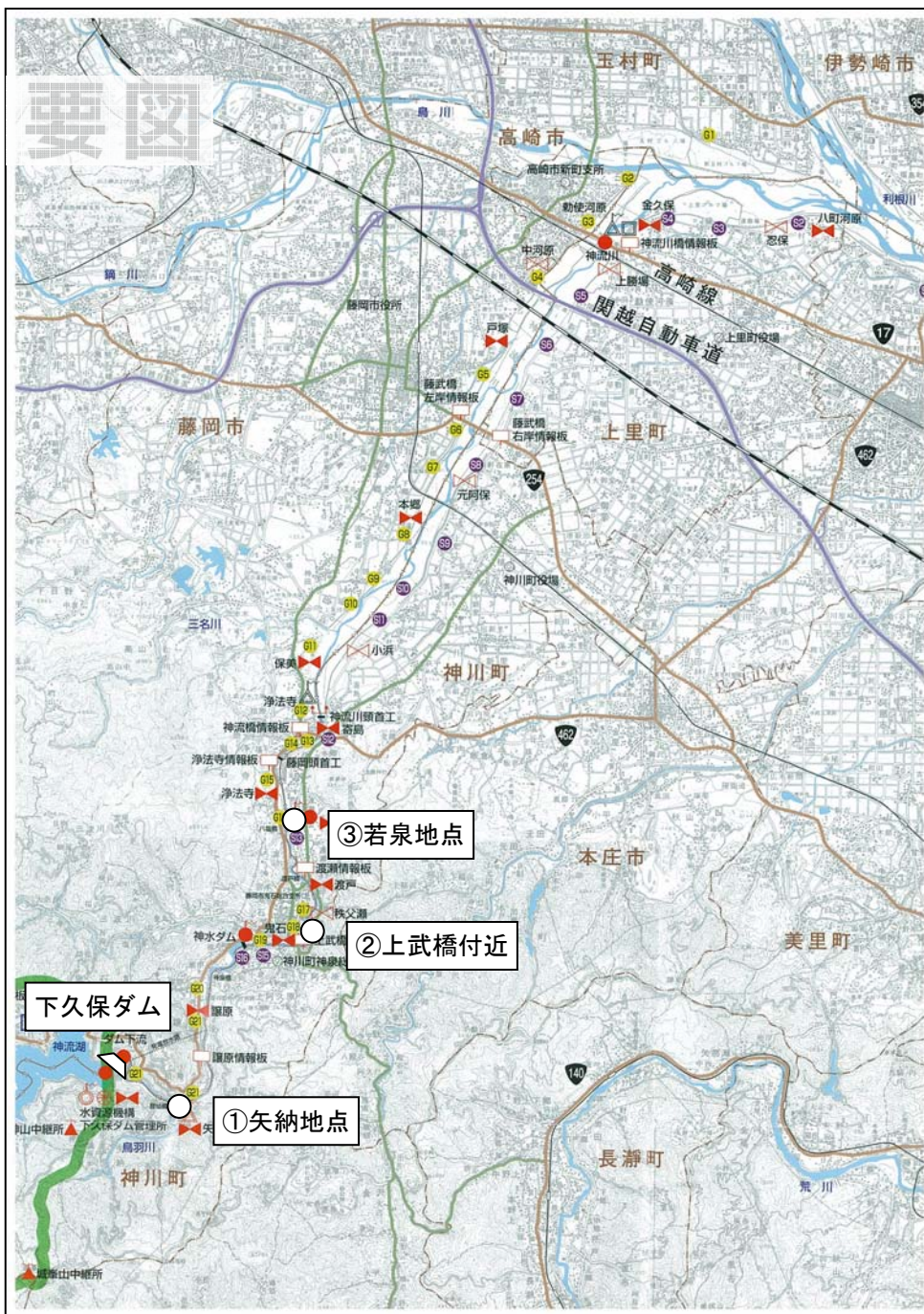
10時から12時にかけて放流量を徐々に最大毎秒約90m<sup>3</sup>まで増やし、その後最大毎秒約90m<sup>3</sup>の放流を午後2時頃まで継続した後、約2時間かけて放流量を減らします。その間に下流河川の河床変動状況や水質等の調査を実施する予定です。

#### 4. ダム下流河川の水位上昇について

今回のフラッシュ放流によって、ダム下流の神流川では、次のとおり水位が上昇することが予想されますので注意してください。

フラッシュ放流時は河川利用者の安全確保のため、サイレン吹鳴及びスピーカ放送並びに河川巡視を行います。河川利用者の方には、河川から出ていただくことをお願いする場合がありますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

- |                     |   |
|---------------------|---|
| ① 矢納地点 (三波石峡下流)     | : 最大で約 1.7m 程度上昇 (11 時～13 時頃)           |
| ② 上武橋付近 (鬼石小学校付近)   | : 最大で約 1.0m 程度上昇 (11 時 30 分～13 時 30 分頃) |
| ③ 若泉地点 (八塩温泉・神水館付近) | : 最大で約 1.0m 程度上昇 (12 時～14 時頃)           |



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 50000 (地図画像) を複製したものの (平 20 業複、第 1015 号) を転載したものである。



5. 過去のフラッシュ放流実施状況（平成20年7月18日）



ダムから最大約90m<sup>3</sup>/sを放流

7/18 10:25 放流開始直後

7/18 12:08 ピーク放流時

7/19 8:34 放流後

置土

置土

置土

フラッシュ放流（平成20年7月18日）によるダム直下置土の変化

フラッシュ放流前 (H20. 7. 16)

フラッシュ放流後 (H20. 7. 19)

フラッシュ放流前 (H20. 7. 16)

フラッシュ放流後 (H20. 7. 19)

三波石峡において、一部にクレンジング効果\*による付着藻類の剥離が認められた。

※クレンジング効果：砂利や砂が流れることにより石の表面が磨かれる効果。

しもくぼ  
下久保ダム概要

1. 目的

1) 洪水調節

ダム地点における計画高水流量  $2,000\text{m}^3/\text{s}$  のうち、 $1,500\text{m}^3/\text{s}$  の洪水調節を行い、利根川上流ダム群とあいまって、下流の高水流量を低減する。

2) 不特定かんがい等

利根川上流ダム群とともに利根川沿岸の既成農地及び下久保ダムによって神流川沿岸の既成農地に対するかんがい用水の補給その他流水の正常な機能の維持と増進を図る。

3) 新規利水

東京都の上水道用水として  $12.6\text{m}^3/\text{s}$  並びに埼玉県の上水道用水として  $1.6\text{m}^3/\text{s}$  及び工業用水として  $1.8\text{m}^3/\text{s}$  合計  $16\text{m}^3/\text{s}$  の取水を可能とする。

4) 発電

最大出力  $15,000\text{KW}$  の発電を行う。(群馬県)

2. 諸元及び管理施設の概要

管理所：〒367-0313 埼玉県児玉郡神川町大字矢納 1356-3

貯水池	流域面積	322.88km <sup>2</sup>	
	湛水面積	3.27km <sup>2</sup>	
	湛水延長	11.0km	
	平常時最高貯水位	EL.296.8m	
	洪水貯留準備水位	EL.283.8m	洪水期：7/1～9/30
	最低水位	EL.223.7m	
	総貯水量	130,000,000m <sup>3</sup>	
	有効貯水量	120,000,000m <sup>3</sup>	
ダム	河川名	利根川水系神流川	
	位置 右岸	埼玉県児玉郡神川町大字矢納	
	〃 左岸	群馬県藤岡市保美濃山	
		主ダム	補助ダム
	形式	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム
	堤頂長	310.0m	295.0m
	堤高	129.0m	73.0m
	堤体積	959,171m <sup>3</sup>	233,920m <sup>3</sup>
放流設備	主放水設備	ラジアルゲート	2門
	非常用放水設備	ラジアルゲート	2門
	利水放流設備	ハウエルバンパーバルブ	2門